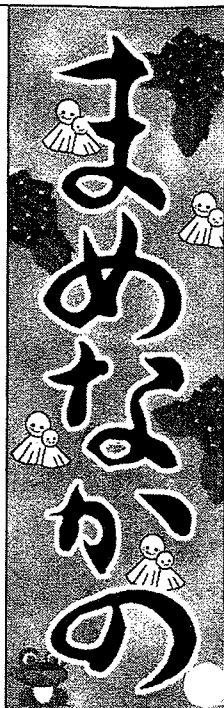


# 手術について お知らせ

- ・ 整形外科の手術、膀胱がんや前立腺がんなど泌尿器科の手術、白内障など眼科の手術、鼻やのどの耳鼻咽喉科手術について、隠岐病院は、これまで通り、毎日、手術しています。どうか安心して受診して下さい。
- ・ 外科については、4月から常勤医師が一人になったことにより、従来に比べ、出来る手術が減っています。但し外科の診療自体は、これまで通りおこないますので、どうかよろしくお願いします。

(各科の手術については、逐次、ご紹介していく予定です)



発行責任者  
隠岐広域連合立  
隠岐病院長  
隠岐の島町城北町

## 十一月から診療再開

### 産婦人科医師複数体制へ

安全な産婦人科診療体制整う

去る五月十三日、松田和久隠岐の島町長が記者発表されたように、今年十一月を目途に当院産婦人科の診療が再開できることになりました。皆様方に多大なご心配、ご迷惑をおかけしただけに診療再開にあたっては、医師を複数にするなど、より良い体制を準備することとしました。謹んでお知らせします。

ここに至るまでの間、不確定な内容が報道されて混乱を招き、妊産婦様をはじめ地域住民の皆様方には大変なご迷惑をかける結果となりましたことをお詫びします。この経緯については五月初めに、広域連合と安来市の医師及び島根大学産婦人科教授の三者により、派遣の合意に達し、島根大学医学部からの正式な派遣回答を待っていました。が、急遽、産婦人科教授を通じて当該医師が赴任しない旨の連絡があり、混乱が生じました。

こうした中、島根県の努力で、新たな産婦人科医師確保の目途が立ったことにより、「本年十一月から島根県立中央病院より複数体制での支援を行うことができる」旨の連絡を五月十二日に県から受け、広域連合、広域連合議会、隠岐の島町及び隠岐の島町議会と協議の結果、島民の皆様により安全で安心な産婦人科診療体制を安定的に提供できることと判断し、この申し出を受けることとしました。本年十一月からは、隠岐でお産が出来ることになりました。が、それまでは本土分娩をせざるを得ない状況にあり、妊産婦様をはじめ地域の皆様にご迷惑をおかけすることとなります。が、一日でも早く診療再開できるように島根県並びに島根県立中央病院へ引き続きお願いをいたします。どうかご理解をいただきますようお願いいたします。(四面に関連記事あり)

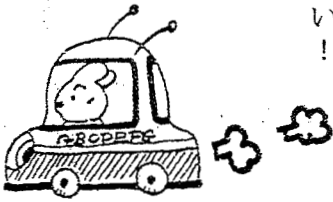
# 新規職員の紹介

平成十八年度がスタートし、早二ヶ月がたとうとしております。遅くなりましたが、四月、五月付け採用職員を紹介いたします。よろしくお願いたします。

いしとび りょう  
石飛 亮  
(内科医師)



四月から内科医として勤務しています。以前にも隠岐病院で二年、その後都万診療所で二年間勤務し今年で隠岐島後は連続五年目になります。隠岐でのこれまでの経験を生かして皆様の健康・維持・増進にお役にたてれば、と考えていますのでよろしくお願いたします。ちっちゃな車で走っているところを見かけられた際には手を振ってください！



すみた こうき  
角田 耕紀  
(内科医師)



はじめまして。四月から隠岐病院内科で勤務することになりました。自治医科大学を卒業して七年目になります。まだまだ未熟ですが、患者さん中心の医療（保健・福祉を含めた）が展開できるように努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

みやけ けんいちろう  
三宅 賢一郎  
(眼科医師)



四月から、眼科に勤務させていただきます。三宅



と申します。毎日外来が大変混雑したり、手術を土曜日に行ったりと、多くの皆様方に変ご迷惑をお掛けしております。基本的に「あほ」ですので、ご指導よろしくお願いたします。また、隠岐生活の楽しみ方なんかもご教示いただけると非常にうれしいです。



やまがみ のぶお  
山上 信生  
(整形外科 医師)



こんにちは。島根大学から赴任してきました山上信生です。単身で来ましたので、仕事の後は一人部屋の隅でカップラーメンを食べながら寂しくしています。職場は以外に顔見知りが多くて（親戚、同級生、後輩など）楽しく働いております。整形外科部長・西口先生とともに一生懸命働きますのでよろしくお願いたします。

たけだ まさき  
竹田 昌希  
(泌尿器科 医師)



皆さん、こんにちは。この度隠岐病院泌尿器科に就職しました竹田昌希と申します。現在二十九歳のA型か座です。割とキレイ好きです。趣味は特にありません。島に来てから間もないですが、かなり隠岐は気に入りました。（冬は寒そうでイヤですが...）仕事は頑張ろうと思っております。釣りをしてみたいと思っておりますので、誘ってみてください。嫌いな食べ物はありません。

やまさき よしとも  
山崎 理智  
(歯科医師)



島根大学附属病院から、今年の春に隠岐病院歯科に赴任してきました山崎理智と申します。出身は広島県です。心機一転頑張ろうと思っておりますのでよろしくお願いたします。



ぬきな しゅう  
貫名 秀

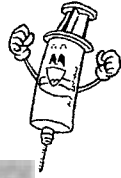
(精神科 医師)



米子から  
来ました貫名です。これまでは  
鳥取大学医学部附属病院の精神  
科で勤務しておりました。

医療の改善で精神科の患者さ  
んは在宅にという方針が出さ  
れ、現在は大変な変革期にあり  
ます。地域の皆様のご協力、ご  
理解が今後必要となっていくと  
思われます。我々も啓蒙活動を  
通じて、疾患の理解を図ってい  
く必要があります。

微力ではありますが地域に貢  
献できるよう頑張つて参りま  
す。みなさまどうぞよろしくお  
願い致します。



くろさき のりこ  
黒崎 典子

(看護師)



二階病棟に  
配属になりました黒崎です。  
一日も早く病棟に慣れ、戦力に

なれるよう頑張っていきたいと  
思っています。不慣れな分、皆  
様にご迷惑をおかけすることが  
多々あると思いますが、よろし  
くお願い致します。

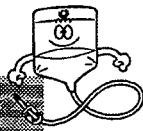
ながみ かなこ  
永海 佳奈子

(看護師)



今年度より

三階病棟で勤務する事になりま  
した。永海佳奈子です。分から  
ない事も多くて、先輩方には、  
ご迷惑をおかけすると思いま  
す。一年生と同様一つ一つ勉強  
して、良い看護をしていこうと  
思います。よろしくお願いま  
す。



やまね のぶこ  
山根 伸子

(看護師)



山根伸子で  
す。本年度より三階病棟に配属

になりました。隠岐病院では昨  
年度から内科外来のスタッフと  
して勤務してきました。外来で  
の学びを病棟で活かせる様にこ  
れからもよりよい医療、看護の  
提供につとめていきたいと思  
いますので、どうぞよろしくお願  
いいたします。ガンバリます！

ふじた やすよ  
藤田 泰代

(看護師)



今年三月、  
大阪から隠岐の島へもどり四月  
より隠岐病院で働かせて頂く事  
になりました。隠岐に帰って一  
ヶ月余り、仕事は大変ですがの  
んびりした日々を過ごしていま  
す。久しぶりの隠岐での生活は  
色々な方達との出会い、自然と  
の触れ合い、様々な行事などで  
れも新鮮です。新たな気持ちで  
先輩ナースに隠岐病院でしか出  
来ない看護を学びたいと思っ  
ています。どうぞよろしくお願  
いします。



いそみ はるか  
磯見 春佳

(看護師)



四月から三  
階病棟に勤務している磯見で  
す。一年目でまだまだわからな  
いことだらけですが、先輩たち  
を見習って頑張っていきたいと  
思います。そして、患者様から  
信頼される看護師になりたいと  
思っています。

くろさわ まい  
黒澤 麻衣

(看護師)



私は幼少の  
頃から病弱でよく病院に通つて  
いました。子供ながらに感じた  
のは、看護師の大きな存在によ  
って不安や恐怖心がなくなるこ  
とでした。また私に大きな夢を  
あたえたこともあり、辛い三年  
間の学生生活も乗り越えること  
ができました。まだ一年目で、  
経験は浅く、知識技術共に未熟  
ではありますが、患者様に対し  
て「感じる心」をもち温かく関  
わっていききたいと考えていま  
すのでよろしくお願います。

# 整形外科からのお知らせ

整形外科外来では、診察前に、診察しやすいような衣服に着替えていただきます。その衣服を今回新しいものにしました。一人一人新しいもので、毎日洗濯しています。

今回衣服を新しくしたのは、患者様の意見箱がきっかけとなりました。新しく購入し、上着は少々肩等が痛くても着やすいものに整形外科職員の方が一つ一つ手直ししたものです。患者様から意見が出る前に私

達が気付くべきですが、今回のように気付かないことも多々あると思います。これから職員一同、患者様の身になって医療、看護を提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

左記のポスターを外来にも貼ってありますが、分からないことがあれば、整形外科外来までお申し付けください。なお、着替えはご自分で持参されても結構です。

## ～着替えについて～

症状に応じて、下記のように着替えていただきます

肩腕

半そで上着

腰

半ズボン

膝

\*弊、ストッキングはいたしません

なお、診察着については毎日洗濯したものを使用しています

## 婦人科診療の

### 今後の対応

#### 一、産婦人科診療について

基本的には毎週月曜日（飛行機の発着時間により変更あり）とします。

火曜日～金曜日までは産婦人科に助産師を配置し相談、投薬については対応します。

診療日程変更の場合には院内掲示と予約患者様への連絡対応とします。

#### 二、妊婦健診

五月十二日より毎週金曜日に助産師外来を行い助産師による妊婦健診を行なっています。あわせて妊婦相談を行なっています。

三十六週以降については本土医療機関（分娩予定病院）にてお願いします。

#### 三、相談窓口

産婦人科外来に相談窓口の設置と助産師による相談を時間内随時受け付けます。

#### 四、救急時の対応

六月以降の分娩予定の方に對して分娩引き受け医療機関を含め個別に相談を受け付けます。

平日は産婦人科外来の助産師が連絡を受け院内担当医が対応します。夜間・土日・祭日は宿日直医師にて対応いたします。適宜、助産師が立ち会います。

県立中央病院とのホットライン（周産期医療センター医師）の活用をします。搬送時は産婦人科ドクターへの活用をします。

